

10 月 10 日は『目の愛護デー』 特設サイト「モスバーガーから目のおはなし」を公開 ～食事の時間を活用した目と心を休める過ごし方を提案～

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）は、10 月 10 日の『目の愛護デー』※1 に合わせ、“おいしい時間、目と心にやさしい休息を”をテーマに食事の時間に目を休めることを提案する特設サイト「モスバーガーから目のおはなし」を、10 月 9 日（金）に公開しました。

※1 数字の「1010」を横にすると眉と目の形に見えることから、1947 年に中央盲人福祉協会が制定。現在は厚生労働省が主催。

➤ 特設サイト「モスバーガーから目のおはなし」（<https://www.mos.jp/omoi/menohanashi/>）



【特設サイト「モスバーガーから目のおはなし」トップページ】

モスバーガーには、視力や目の見え方が異なるさまざまなお客様がご来店され、その誰もが心地よく過ごせる場所を目指しています。1979 年からは店舗に募金箱「愛のモスボックス」を設置しており、お預かりした募金は盲導犬（アイメイト）の育成や、障がいをお持ちの方の社会参加、国際食糧支援などに役立てられています。

また 2025 年 4 月からは、東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院（病院長：丸山 彰一、愛知県名古屋市）と株式会社夏目総合研究所（代表取締役社長：臼倉 正、本社：東京都中央区）とともに、弱視発見率向上を目的に乳幼児でも比較的簡便に測定ができる視力検査機器の研究開発を開始しました。研究への資金提供を行い、全国の店舗やモスの公式サイト「モスの森」で啓発活動に協力しています。

➤ モスの森 <https://www.mos.jp/mori/>

今回開設する特設サイトでは、食事の時間に目と心を休める過ごし方の提案に加え、乳幼児を対象とした新たな視力測定機器の研究開発に関する取り組みや、弱視検査の啓発情報を紹介しています。

■当社が進める“誰もが安心して自分らしく過ごせるお店づくり”の取り組み

◆ 弱視発見率向上を目的とした検査機器を研究開発中

モスフードサービスでは、東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院、瞳孔反応に関する基礎研究を手掛ける株式会社夏目総合研究所と3者共同で、弱視発見率向上を目的に乳幼児でも比較的簡便に測定ができる視力検査機器の研究開発を行っています。この研究開発は、株式会社夏目総合研究所がもつ瞳孔反応解析技術を活用することで、これまで視能訓練士※2が紙のボードなどを使って行っていたTAC検査※3をデジタル化する取り組みです。開発する検査機器はモニター画面やタブレット端末のような形態を想定しており、機械をのぞき込むといった動作が不要で乳幼児でも検査の精度が確保できる機器の開発を目指しています。また、モスバーガー店舗で弱視の早期発見に向けた啓発リーフレットを配布するなど、全国の店舗を活用した啓発活動にも取り組みました。

※2 小児の弱視や斜視の視能矯正や視機能の検査をおこなう国家資格を持つ専門技術職。

※3 幼児や肢体不自由児の視力を測定する検査。縞模様が目がいく「反射」を利用して視力を測定

➢ 未就学児向け弱視検査機器の共同研究開発を開始（2025年4月ニュースリリース）

https://www.mos.co.jp/company/pr_pdf/pr_250418_1.pdf



【啓発リーフレット】

◆ これまでに 55 組のペアが誕生「愛のモスボックス」募金

モスバーガーでは、1979年にモスバーガー白楽店（神奈川県）で始まった募金活動をきっかけに、全国の店舗に募金箱「愛のモスボックス」を設置しています。寄せられた募金は、公益財団法人アイメイト協会や一般社団法人日本フードサービス協会の「ジェフ愛の募金」を通じて、視覚障がいのある方々の社会参加を支援する活動に役立てられています。アイメイト協会では、モスを通じた募金により、これまでに55組の視覚障がい者とアイメイト（盲導犬）のペアが誕生しています。

➢ 第44回「愛のモスボックス贈呈式」を実施（2025年11月ニュースリリース）

https://www.mos.co.jp/company/pr_pdf/pr_251118_1.pdf



◆ 子育て世帯を応援する「こどもス」プロジェクト

モスバーガーで働くお母さん・お父さんスタッフの声から生まれた、子育て世帯を応援する取り組みです。小さなお子様をお連れの方が気兼ねなく過ごせる環境づくりを目指し、現在、全国約400店舗で展開しています。店舗では、自由に絵本を楽しめる「こどもス文庫」や、小学生以下のお子様連れのお客様を対象とした「こどもス優先席」、お子様が自分でレジ注文に挑戦し、社会体験を楽しめる「こどもスチャレンジ」などを実施しています。このほか、お子様用の椅子や食器の貸し出し、離乳食のあたため対応など、従来からの子育て支援サービスも充実させ、お子様と一緒に過ごしやすい店舗づくりを進めています。

➢ 「『こどもス』プロジェクト全国181店舗で開始」（2024年4月ニュースリリース）

https://www.mos.co.jp/company/pr_pdf/pr_240423_1.pdf



＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
株式会社モスフードサービス 広報 IR・SDGs グループ
E-mail : pr@mos.co.jp

＜お客様からのお問い合わせ先＞
お客様相談室 TEL : 0120-300900（受付時間：10:00～17:00）

＜ご参考＞ ●モスフードサービス企業サイト <https://www.mos.co.jp/company/>

●モスグループの環境・社会活動「モスの森」 <https://www.mos.jp/mori/> ●モス公式オンラインショップ～Life with MOS～ <https://ec.mos.jp/>